

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	中顔面欠損後における腭骨皮弁再建の早期、晩期合併症に対する後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	悪性腫瘍に対する切除後の中顔面欠損（特に上顎癌手術など）は、形態と機能に大きな影響を及ぼすため当院では多職種からアプローチして治療に臨んでいます。しかし世界中で中顔面、顎骨切除後の再建手術は現在においても比較的難易度の高い治療であると言われています。そのためには周術期合併症を最小限にするため、術前の徹底した評価、合併症を予防するための手術法の導入、周術期安全管理の確立が必要になります。今回その手術成績と口腔リハビリテーション（義歯、インプラントなど）をどのように行なっているか調査して、より安全な手術で、患者さんが術後の生活の質が維持できている手術か否かを調査いたします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2024 年 9 月 4 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	上顎癌もしくは鼻腔癌の患者さんで、2006 年 2 月 1 日～2023 年 9 月 1 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院にて中顔面切除、腭骨皮弁再建手術の治療を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、手術録、術後経過、リハビリ状況など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	石田勝大
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 石田勝大	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024 年 1 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：准教授 石田 勝大（イシダ カツヒロ） 窓口担当者：准教授 石田 勝大（イシダ カツヒロ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3481） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	中顔面欠損後における腭骨皮弁再建の早期、晩期合併症に対する後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	悪性腫瘍に対する切除後の中顔面欠損（特に上顎癌手術など）は、形態と機能に大きな影響を及ぼすため当院では多職種からアプローチして治療に臨んでいます。しかし世界中で中顔面、顎骨切除後の再建手術は現在においても比較的難易度の高い治療であると言われています。そのためには周術期合併症を最小限にするため、術前の徹底した評価、合併症を予防するための手術法の導入、周術期安全管理の確立が必要になります。今回その手術成績と口腔リハビリテーション（義歯、インプラントなど）をどのように行なっているか調査して、より安全な手術で、患者さんが術後の生活の質が維持できている手術か否かを調査いたします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2024 年 9 月 4 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	上顎癌もしくは鼻腔癌の患者さんで、2006 年 2 月 1 日～2023 年 9 月 1 日の間に東京慈恵会医科大学附属柏病院にて中顔面切除、腭骨皮弁再建手術の治療を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、手術録、術後経過、リハビリ状況など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	石田勝大
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 石田勝大	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024 年 1 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：准教授 石田 勝大（イシダ カツヒロ） 窓口担当者：講師 岸 慶太（キシ ケイタ） 電話番号：0471-64-1111（内線 3481） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。